

<b>土壌くん蒸剤</b> <b>クロピクリンくん蒸剤</b>  <b>クロピクフロー®</b>	<b>農林水産省登録 第21220号</b> (日本化薬(株)登録)  性状: 淡黄色澄明油状液体 毒性: 劇物 危険物: 非該当 有効年限: 3年 包装: 15ℓ
---	---

有効成分: クロルピクリン・・・・・・80.0%  
 (トリクロロニトロメタン(化管法第1種))

殺虫剤分類	8B
殺菌剤分類	—

クロピクフロー®は日本化薬(株)の登録商標です。

<b>特長</b> ○各種土壌病害やセンチュウに安定した効果を発揮します。 ○灌水装置で被覆後に薬剤を施用するため、作業が簡便で、かつ、安全に使用できます。
--

**適用病害虫名及び使用方法**

作物名	適用病害虫名	10アール 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを 含む農薬の 総使用回数
かぶ	萎黄病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	1回
	ネコブセンチュウ	30ℓ			
トマト	萎凋病 ネコブセンチュウ	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
ミニトマト	萎凋病 ネコブセンチュウ	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
いちご	萎黄病 ネグサレセンチュウ	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
	ネコブセンチュウ	30ℓ			
なす	ネコブセンチュウ	30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
	半枯病 青枯病	20~30ℓ			
ピーマン	青枯病 萎凋病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
	ネコブセンチュウ	30ℓ			
とうがらし類	青枯病 萎凋病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
	ネコブセンチュウ	30ℓ			
ほうれんそう	萎凋病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
	ネコブセンチュウ	30ℓ			
ごぼう	萎凋病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
	ネコブセンチュウ	30ℓ			
いんげんまめ	萎凋病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
	ネコブセンチュウ	30ℓ			

作物名	適用病害虫名	10アール 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを 含む農薬の 総使用回数
きゅうり	つる割病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
	ネコブセンチュウ ホモブシス根腐病	30ℓ			
すいか	つる割病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
	ネコブセンチュウ ホモブシス根腐病	30ℓ			
うり類（漬物用、 ただし、漬物用メ ロンを除く）	つる割病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
	ネコブセンチュウ	30ℓ			
かんしょ (苗床)	つる割病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	1回
にがうり	つる割病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
	ネコブセンチュウ	30ℓ			
さやいんげん	萎凋病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
	ネコブセンチュウ	30ℓ			
さやえんどう	根腐病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
	ネコブセンチュウ	30ℓ			
実えんどう	根腐病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
	ネコブセンチュウ	30ℓ			
しょうが	根茎腐敗病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
葉しょうが	根茎腐敗病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
みょうが (花穂)	根茎腐敗病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
みょうが (茎葉)	根茎腐敗病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
こまつな	萎黄病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)

作物名	適用病害虫名	10アール 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを 含む農薬の 総使用回数
アスパラガス	立枯病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
	ネコブセンチュウ	30ℓ			
にら	乾腐病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
ねぎ	萎凋病 根腐萎凋病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
	ネコブセンチュウ	30ℓ			
バセリ	立枯病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	1回
	ネコブセンチュウ	30ℓ			
セルリー	萎黄病	20~30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
	ネコブセンチュウ	30ℓ			
きく	萎凋病 ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
花き類・観葉植物 (きくを除く)	萎黄病 (フザリウム菌) 萎凋病 (フザリウム菌) 株枯病 (フザリウム菌) 乾腐病 (フザリウム菌) 球根腐敗病 (フザリウム菌) 立枯病 (フザリウム菌) 葉枯病 (フザリウム菌) 腐敗病 (フザリウム菌) ネコブセンチュウ	30ℓ	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)

作物名	使用目的	10アール 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを 含む農薬の 総使用回数
トマト	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(茎葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(茎葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
ミニトマト	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(茎葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(茎葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)

作物名	使用目的	10アール 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを 含む農薬の 総使用回数
いちご	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
ピーマン	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
とうがらし類	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
きゅうり	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
うり類(漬物用、 ただし、漬物用メ ロンを除く)	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)

作物名	使用目的	10アール 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを 含む農薬の 総使用回数
すいか	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
さやいんげん	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
ねぎ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
セルリー	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
花き類・観葉植物	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)

作物名	使用目的	10アール 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを 含む農薬の 総使用回数
なす	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
ほうれんそう	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
ごぼう	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
いんげんまめ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
にがうり	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)

作物名	使用目的	10アール 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを 含む農薬の 総使用回数
さやえんどう	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
実えんどう	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
しょうが	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
葉しょうが	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
みょうが(花穂)	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)

作物名	使用目的	10アール 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを 含む農薬の 総使用回数
みょうが(莖葉)	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
こまつな	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
アスパラガス	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)
にら	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20ℓ	前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物の収穫終了後古株撤去前まで	1回	灌水チューブを設置し、その上からポリエチレン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	2回以内 (床土1回以内)

## 使用上の注意事項

- 温度が低いと本剤のガス化が悪く、十分な効果が得られないこともあるので、なるべく地温が7℃以上の時に使用してください。
- 本剤の処理に当たっては、作物の播種・植付け前にガスが土壌中に十分拡散するように耕起、砕土を十分に行い、丁寧に整地してから灌水チューブを設置してください。その上からポリエチレン等で被覆し、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理してください。
- 本剤の処理液が直接処理圃場より漏出しないように注意してください。
- 高設栽培等架台上的培地に使用する場合、薬剤がベッドの下部等から散逸しないように、ポリエチレン、ビニール等で施設床面まで被覆してください。また、薬剤を処理する際に、ポリエチレン、ビニール等を伝わって、栽培槽から漏出しないように注意してください。
- 古株枯死、コナジラミ類の蔓延防止に使用する場合、前作のトマト、ミニトマト、いちご、なす、ピーマン、とうがらし類、ほうれんそう、ごぼう、いんげんまめ、きゅうり、すいか、うり類（漬物用、ただし、漬物用メロンを除く）、にがうり、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、しょうが、葉しょうが、みょうが（花穂）、みょうが（莖葉）、こまつな、アスパラガス、にら、ねぎ、セルリーまたは花き類・観葉植物に処理し、被覆期間については以下を目安としてください。また、ハウス等からクロロピクリンの臭気が漏洩しないように、十分注意してください。
  - 地温が15℃以上の時は処理後10日位。
  - 地温が低い時は処理後20～30日位。
- 地温が15℃以上の時は処理後10日位、また、地温が低いときは処理後20～30日経過するとガスは大体抜けますが、念のためくわを入れ、土質、気温等により、なお臭気が残っている時は、よく切り返し、完全にガスを抜きを行ってから、播種あるいは移植してください。うり類は本剤のガスに弱いので、ガス抜きは特に丁寧に行うよう注意してください。
- 作物の生育中には葉害を生じるので使用しないでください。隣接地に生育中の作物がある場合には、揮散ガスによる葉害に注意してください。特に、生育中の作物があるハウス内では使用しないでください。
- 消石灰などのアルカリ性肥料の施用直後に本剤を処理すると作物に有毒な物質を作り、葉害の発生するおそれがあるので、このような肥料はガス抜き後に施用するか、または本剤処理の10日以上前に施用してください。
- 他剤と混合しないでください。特にカーバム剤およびカーバムナトリウム剤とは化学反応により、発熱し危険であるので、カーバム剤およびカーバムナトリウム剤使用後の散布器具等はよく洗浄してから用いてください。
- 金属腐食性があるので、使用後の注入器具その他は水でよく洗ってください。
- 薬液の入っている製品缶に水が混入すると、缶が腐食するおそれがあるので、製品缶には水を入れないでください。
- 薬液タンク（ポリタンク等）に移した薬液は水分を含んでいる可能性があり、製品缶を腐食するおそれがあるので、残存薬液は製品缶に戻さず、使い切ってください。
- ミツバチの巣箱周辺では使用をさけてください。
- 処理後の放置期間と効果・葉害との関係は、土壌の種類、腐植土の多少、温度、土壌水分、作物の種類によって様ではないので、本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意してください。
- 特に、初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

## 安全使用上の注意事項

- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。
- 誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当てを受けさせてください。
- 本剤は窒息性有毒ガスを発生するので、揮散したガスを吸い込まないように注意してください。
- 本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、通風の良好な場所で顔を横に向け、体を暖めながら直ちに医師の手当てを受けてください。場合によっては、酸素吸入又は人工呼吸を行い、強心剤等を投与してください。
- 本剤は催涙性の刺激性を有し、眼、のど、鼻を刺激するので注意してください。ガスが眼に入りひどく痛む時は、多量の水でよく洗い速やかに眼科医の手当てを受けてください。
- 本剤は皮膚に対して強い刺激性があるので皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 本剤を取り扱う際は吸収缶（活性炭入）付き防護マスク、保護眼鏡、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣などを着用してください。
- ガス抜き作業の際も同様の防護マスク、保護眼鏡を着用してください。作業の際はガスを吸い込まないよう風向き等を十分考慮してください。
- 作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
- 本剤は灌水装置、施設を使用し処理するため装置や設備の接続部分は薬液の噴出等がないよう注意してください。
- 本剤が衣服等に付着した場合には、脱衣して他のものとは分けてよく洗濯し、本剤の臭気が抜けるまで身につけないでください。かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 作業中およびくん蒸中の圃場へ小児等作業に関係のないものや家畜、家禽が立ち入らないよう十分注意してください。
- 揮散ガスによる危被害を防止するため、本剤の処理は朝夕の気温の低い時間帯に行ってください。
- 住宅、畜舎、鶏舎周辺での使用に当たっては、以下の事項に留意し、ガスによる危被害の発生防止に十分配慮してください。
  - 高温期の処理を避け、気温の低い季節に処理することをおすすめします。
  - 住宅、畜舎、鶏舎が風下になる場合、処理を控えてください。
  - 被覆資材は厚めのもの（0.03mm以上）を使用してください。
  - 風の強さや向きが変わり、危被害を及ぼす恐れがある場合は、ガス抜き作業を中断してください。
- 本剤をビニールハウス等の施設内で使用する場合、出入口、天窓、側窓等を開け通気をよくして作業を行ってください。
- 作業後は直ちに密閉し、臭気が残っている期間にはハウス内に入らないでください。くん蒸後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。
- 本剤は皮膚に対して強い刺激性があります。

## 水産動植物に係る注意事項

- 本剤は水産動植物（魚類、甲殻類、藻類）に強い影響を及ぼすので、河川、湖沼、海域及び養殖池に本剤が飛散、流入する恐れのある場所では使用しないでください。
- 散布器具、容器の洗浄水及び残りの薬液は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

## 保管に関する注意事項

- 直射日光をさけ、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。